

コンクール・入賞等おめでとう！ 2/24現在

子どもたちは、様々なコンクールに挑戦し、すばらしい活躍を見せてくれています。今月は、2月24日現在での報告についてお知らせいたします。

○令和2年度 河北町新春書初展

<金賞> 4年 田宮咲空

<銀賞> 3年 阿部香凜 4年 竹屋奏汰 5年 阿部紗也 6年 朝烏吏那

学校通信



耕

河北町立谷地西部小学校

令和 3年 2月28日

No. 273

電話 71-1108

教育目標 笑顔いっぱい ひとみ輝く 西部っ子

1・2年生チューブ滑り

2月3日(水)、1・2年生が、県立朝日少年自然の家(大江町)でチューブ滑りを体験しました。3つのコースから自分の滑りたいコースを選び、心行くまで冬の遊びを楽しむことができました。



授業参観・学級懇談会

2月10日(水)、授業参観・学級懇談会・PTA全体会を行いました。授業参観では、本年度の子どもたちの成長した様子を見ていただきました。聞き手を意識した発表の姿に、今年1年の成果を感じました。



交通指導員さん感謝の会

2月17日(水)、毎日お世話になっている田宮交通指導員さん、工藤交通指導員さんのお二人に全校生で感謝の気持ちをお伝えする会を行いました。全校生一人一人の感謝の気持ちを込めたお手紙をお渡ししました。



【3月の主な行事予定】

- 1日(月) 安全点検
- 4日(木) 児童集会(卒業式関係)
- 5日(金) 子ども文庫
- 10日(水) 大掃除①
- 12日(金) 大掃除② PTA会計監査
- 15日(月) 卒業式練習 大掃除③
- 16日(火) 卒業式練習

- 17日(水) 修了式・卒業式練習 給食有
通知表配付 大掃除④
- 18日(木) 卒業証書授与式
(在校生登校8:40 卒業生受付9:10より)
- 19日(金) 年度末・年度始休業~4/6
- 26日(金) 離任式(児童登校9:15)
- ※4/7 令和3年度1学期始業式 4/8 入学式

西部小で過ごした6年間



もうすぐ卒業を迎える7名の6年生…一人一人、西部小で過ごした日々を振り返ってもらいました。

校長 丹野 宏紀

	朝烏吏那(上沢畑) …1年生の学習発表会『じゅげむ』で長いセリフをみんなで覚えてセリフもつけたことです。後ろの観客まで見えるように、聞こえるように頑張ったこと、今でも忘れません。	
	阿部芽衣(高嶋) …6年生の運動会で組頭を務めました。放課後の練習は感染症対策のため大きな声は出せませんでした。それでも一生懸命練習したので、応援賞をとることができました。	
	岡崎優輝(弥勒寺) …5年生の時の修学旅行が忘れられません。3つの班に分かれて加茂水族館に行ったり、ホテルで夜寝る前に楽しくおしゃべりしたことがうれしかったです。	
	東海林啓志(弥勒寺) …楽しいことも楽しくないこともあった6年間だったけど、修学旅行が一番の思い出です。ホテルの部屋でみんなで話しながらババ抜きをして楽しかったです。	
	堀米知花(下沢畑) …4年生の音楽会に向けてのピアノの練習が一番の思い出です。毎日練習しました。ミスしてしまうところは、何回も弾き直しました。今でもはっきり覚えています。	
	堀米佑(下沢畑) …忘れられない思い出は理科の実験です。6年生の水溶液の実験では、炭酸水がふき出して、みんなで大笑いしました。毎回の理科が楽しみでした。	
	松田女依(上沢畑) …忘れない思い出は、5年生の時の修学旅行です。買い物の仕方や地図の見方を学ぶことができたのはもちろんですが、友だちとの友情が深まったことがうれしかったです。	

令和2年度・学校評価

本校は、①自己評価(学校、保護者)と②学校関係者評価(学校評議員) から学校評価を行っています。

西部小の学校教育目標を達成するため、今年度の経営の重点【たくましさ】をキーワードに4つの観点から具体的な取り組みを行ってまいりました。このことについて、昨年11月～12月に教職員、保護者、児童によるアンケート《自己評価》を行い、12月末に教職員による経営改善会議を開き、成果と課題を分析し、今後の取り組みについて話し合いました。

また、1月のスクールアドバイザー(学校評議員)会議《学校関係者評価》において、自己評価の結果及び今後の取り組みについてアドバイスをいただき、2月10日(水)のPTA全体会において保護者の皆さまにその結果についてお知らせいたしました。

今月の学校日よりでは、先日のPTA全体会においてご説明申し上げた中から、【令和2年度の振り返りと令和3年度に向けて】についてお知らせいたします。

I 教育目標とめざす子ども像

【教育目標】

笑顔いっぱい ひとみ輝く 西部っ子
かしこく あかるく たくましく ふるさと大好きな子ども

II 今年度の重点

令和2年度のキーワード「たくましさ」

1 「かしこい子ども」を育てる。(たくましい学び)

意欲的に課題に取り組み、最後まであきらめないでやり遂げる強さを育む。

本年度の成果(○)と次年度に向けて(※)

○本校の目指す「たくましい学び」へ迫るため、学年ごとの系統性のある自立した学びが見えてきた。
⇒本校の目指す「たくましい学び」のゴールは、卒業学年6年生の複式学級において、自分たちの45分間を自分たちでつくり上げる自立した学びのことで。

○教科横断的な学びにより「勉強したことが役に立った。」「生きていく上で勉強は必要だ。」と実感する場面が見られた。人生100年時代を主体的に生きるためにも、「学び続ける人・学ぶことを嫌がらない人」に育てていきたい。

○プログラミングやeライブラリー、PCやタブレットを活用した学習に積極的に取り組んできた結果ICTを身近に感じられる子に育ってきた。

※自分の考えを相手に納得させるまでの表現力に課題が残る。次年度も「聞く・話す・書く」の表現力を入れていく。「わからなさを出し合える、間違いを恐れない」「一人残らず安心して学べる教室づくり」を学校経営の根幹としていく。また、コミュニティ・スクールを生かし、地域の方々をはじめ様々な人と「話す・対話する」場を設定していく。

※GIGAスクール構想【一人一台タブレット】【個別最適化された学び】の実現に向けて、学校と家庭が連携しながら効果的なICTの活用を推進していく。



2 「あかるい子ども」を育てる。(たくましかかわり)

少しのことに負けない強さと、相手のことを思って行動できるやさしさを育む。

本年度の成果(○)と次年度に向けて(※)

○「いじめをしないで、友だちのことを考えて生活している。」と答えられる子の割合が増えてきた。
休み時間は、感染症対策をしながら、お互いに誘い合い体育館やグラウンドで元気に楽しそうに遊ぶ姿が多く見られるようになってきた。

○新型コロナウイルス感染症対策のもと制限のある中での学校生活であったが、登下校時のあいさつをがんばったり、来校者に対して自分からあいさつしたりと、あいさつに対する意識は高まっている。

※令和3年度も学校経営の重点として、いじめに関する全体(全校生対象)指導、学級指導を行う。また、谷地西部小道徳年間指導計画により、年間通していじめに関する学習、指導を定期的・日常的に繰り返し、いじめに向かわない健全な子どもの育成を目指していく。

※今以上に「自分はできるんだ」「ぼく(わたし)ってすごいかも」という自己肯定感を育てていきたい。そのためには、学校と家庭が一体となって「成功体験」と「適度な失敗体験」を繰り返していく必要がある。

3 「たくましい子ども」を育てる。(たくましい体)

健康で元気に過ごし、さまざまなことに立ち向かっていくことができる体力を育む。

本年度の成果(○)と次年度に向けて(※)

○学校と家庭、地域が一体となって新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできた。教育課程の変更や削減、行事の内容変更など、刻々と変わる状況へ柔軟に対応しながら自他の「いのち」を守ることを最優先にして日々の教育活動に取り組んでいる。

○様々な運動制限のある中で、子どもたちは自分で目標を設定しながら【器械運動】【持久走】【縄跳び】など自己チャレンジ型の運動に取り組み、自らの変容を実感することができた。

※感染症の状況を見ながら、令和2年度実施することができなかった水泳学習をはじめ、教科体育のカリキュラムを再検討し、心身ともに「たくましい子」の育成に努める。

4 「地域を知り、ふるさとを愛する子ども」を育てる。(たくましい想い)

ふるさとを大切に想う心と豊かな感性を育む。

本年度の成果(○)と次年度に向けて(※)

○制限のある中での教育活動ではあったが、生活科・総合の時間を中心に、1～6年生までの系統性を捉えた地域の教育資源を活かした学習に取り組んできた。地域の方々のご協力のもと、「本物体験」をすることができた。四季を通して、西部地区の文化や自然などの教育資源に触れることができた。

(安部権内家、紅花資料館、月山神社、果樹畑、水田…)

【谷地西部小生活科・総合の系統性】

1・2年…地域を知る 3・4年…地域の文化・歴史 5・6年…地域の産業

○紅花栽培活動への取り組みや栽培活動など、小規模の強みを活かした「全校生による地域学習」に取り組むことで、37名の児童が自然な形で関われる機会をもつことができた。

※「社会に開かれた教育課程」の理念、及び、令和3年度コミュニティスクール(CS)化による、地域(含:保護者)の教育力(人・もの・文化歴史…)を最大限活用した「西部らしい教育」を実践していく。